

東地協ニュース 2016.6 第30号



これからの地質協会への期待

基礎地盤コンサルタンツ株式会社

神馬 誠 (前 広報委員長)

前回「東地協ニュース」第16号に寄稿したのは、2009年5月でした。

広報副委員長に就任して間もなくでしたが、年2回行われる広報PR活動の紹介、建設市場や協会員を取り巻く厳しい環境と課題、またトピックスとして2016年オリンピック開催への期待について書かせていただきました。この時、東京のオリンピック招致は、残念ながら失敗に終わるのですが、それから4年後の2013年9月、2020年開催地獲得に見事成功し、日本中が歓喜したのは皆さんご記憶のことと思います。

翌2010年に委員長を拝命してから今日まで、協会に関係もしくは影響を与えた大きな出来事を幾つか挙げると、

- 2011年 3月 東日本大震災発生
- 2011年 4月 東京都地質協会「一般社団法人」へ移行
- 2012年12月 第二次安倍内閣 アベノミクス政策で公共事業拡大へ
- 2013年 6月 東京都との「災害協定」(略称)締結
- 2013年12月 国土強靱化法成立
- 2014年 6月 「改正品確法」施行

などがあります。

これらによって、協会及び協会員を取り巻く環境は好転し幾分明るさを取り戻しましたが、いつまでもそれが持続されるものではありません。政府による公共投資や景気下支えには限界がありますので、協会並びに協会員自らが将来を展望し、新しいニーズへの対応と取り組みを行い、施策を展開していく必要があると考えています。

広報委員長の6年間を振り返って、少しでも協会及び協会員の発展や充実、あるいは地質調査業の普及に役立つ活動ができたか、自信は全く持てません。委員の皆様や理事の方々が誠意を持って活動に努力したのは事実ですが、活動内容のマンネリ、会員数の少なさからくる対外的影響力の弱さみたいなものを感じています。

そうした点では、今年新たな試みとして計画している「東京都との意見交換会」には期待を寄せています。協会の意見や要望を直接訴え、協会にとって有利な施策を引き出すことが出来れば、大変喜ばしいことです。要望事項の応諾は簡単なことではありませんが、粘り強く継続して働きかけていくしかありません。このような活動や協会員メリットを非会員会社へもアピールできれば、会員増の期待も持てるでしょう。

最後に、有意義な意見交換会とするためには、入念な準備と説得力のある資料の提示が欠かせません。総務、広報、技術それぞれから委員を募り、WGで話し合いながら何を要望していくかを検討し、皆様の貴重な意見も取り入れながら内容を詰めていくことが重要です。関係各位の多大なご支援とご協力を得て、実りある意見交換会が実現できることを願っています。

● 会議報告等

○ 第32回定時総会

第32回定時総会は、5月17日(火)、測量地質健保会館7階大会議室において開催された。当日は会員数23社に対し、20社が出席(うち委任状提出2社)し、議案が審議され異議なく承認された。

< 議案 >

- (1) 平成27年度事業報告承認の件
- (2) 平成27年度決算報告及び監査報告承認の件
- (3) 定款変更(監事の任期)の件

理事と監事の任期が異なるため、毎年の定時総会において役員の変更を行うことになり、登記費用等が発生している。任期を同一とすることにより、経費削減が図れるため、本総会より第24条第2項にある監事の任期を従来の3年より、理事と同じ2年に変更したい旨の提案があり、審議の結果、全会一致で承認された。

(4) 役員改選の件

協会理事の任期満了に伴う改選、及び任期変更に伴う監事の改選が行われた。改選の結果、以下の通り決定承認された。

また、総会後の理事会において、会長、副会長の互選及び各委員会委員長が決定された。

理 事 (10名)

任期: 2年 (平成28~29年度)

< 内部理事 >

会 長	網代 稔 (株)ダイエーコンサルタンツ)
副会長	長谷川俊彦 (大和探査技術(株))
技術委員長	西原 聡 (中央開発(株))
総務委員長	熊坂 明生 (川崎地質(株))
広報委員長	亀井 厚志 (応用地質(株))

< 外部理事 >

山崎 晴雄 (首都大学東京 名誉教授)
若松加寿江 (関東学院大学 理工学部 教授)
桑原 文夫 (パイルフォーラム(株) 取締役 副社長)
塚本 良道 (東京理科大学 理工学部 教授)
片山 浩明 (東邦地下工機(株) 企画開発本部 開発部 次長)

監 事 (2名)

任期: 2年 (平成28~29年度)

監 事	金道 繁紀 ((株)地盤試験所)
監 事	倉持 知二 ((株)建設地盤)

< 報告事項 >

- (1) 平成28年度事業計画の報告
- (2) 平成28年度予算の報告

※ 法令遵守の説明会

長谷川副会長より法令遵守の社会的使命について説明があった。

※ 総会后、全国地質調査業厚生年金基金 企業年金アドバイザー 内山 利幸氏より、「事業所向け基金サービスメニューのご紹介 ~ライフプランセミナーの活用について~」と題し、ご講演をいただいた。

< 総会風景 >



網代会長挨拶

< 講演会風景 >



講師: 全国地質調査業厚生年金基金
企業年金アドバイザー
内山 利幸氏

< 懇親会風景 > 於: 池袋西口 G-style



○ 理 事 会

1. 平成 27 年度 第 5 回

日時：平成 28 年 2 月 2 日（火）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成 27 年度正味財産(収支)見込
- (3) 平成 28 年度事業方針案
- (4) 平成 28 年防災展(東京都主催・3 月)について
- (5) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(春期)について
- (6) 定款変更(監事の任期)について
- (7) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース 29 号 平成 27 年 12 月会員へ配布
 - 2) 東地協ニュース 30 号企画案
- (8) 広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(平成 28 年 1 月 28 日)
 - 2) 委員の交代について
- (9) 技術委員会関係
 - 1) 土壌・地下水環境調査技術講習会 報告(11 月 20 日)
 - 2) 技術ノート No. 48 「荒川」発行(平成 28 年 1 月)
- (10) 正味財産(収支)報告(平成 27 年 10 月～平成 28 年 1 月)
- (11) 研修用テキスト「入札談合と独占禁止法(平成 27 年 5 月改訂版)」の会員配布(12 月)
- (12) 平成 27 年度現地対策本部地震対応訓練(東京都港湾局・平成 28 年 1 月 20 日)
- (13) 受注動向調査表
- (14) 平成 27 年度 第 3 回代表理事・業務執行理事連絡会議(全地連)
- (15) 鈴木都議(協会顧問)講演と都政報告の夕べ 報告(12 月 14 日)
- (16) 川井しげお東京都議会議長就任祝賀会(平成 28 年 3 月 2 日)

2. 平成 28 年度 第 1 回

日時：平成 28 年 4 月 12 日（火）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成 27 年度事業決算及び平成 28 年度事業計画・予算(案)
- (3) 第 32 回定時総会の進行について
- (4) 東京都との意見交換会に向けて(第 1 回 WG・5 月 11 日)
- (5) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース 30 号について
- (6) 広報委員会関係
 - 1) 委員の補充について
 - 2) 広報 PR 活動について

(7) 技術委員会関係

- 1) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(春期)報告(4 月 8 日～9 日)
- 2) 平成 28 年度東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練(9 月 4 日)について
- 3) 足場の講習会(半日)について
- (8) 平成 28 年度東京都予算要望に対する回答
- (9) 東京都「防災展 2016～東日本大震災から 5 年 今やろう、減災への備え」報告(3 月 11 日～13 日)
- (10) 都政報告の夕べ(鈴木隆道都議・4 月 20 日)出席の件
- (11) 「地質の日記念 街中ジオ散歩 in Tokyo」徒歩見学会(5 月 14 日)の後援
- (12) 応用地形判読士等 国交省「登録技術者資格」に登録
- (13) マニュアル策定「災害時の応急対策業務」確認事項について

3. 平成 28 年度 第 2 回

日時：平成 28 年 5 月 17 日（火）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第 32 回定時総会の進行について
- (3) 意見交換会 第 1 回 WG 報告(5 月 11 日)
- (4) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース 30 号について
- (5) 技術委員会関係
 - 1) 第 1 回委員会報告(4 月 13 日)
- (6) 「足場の組立て、解体に関する特別教育」について
- (7) 高品質ボーリング積算基準(案)について
- (8) 受注動向調査表
- (9) 全地連 E-mail かわら版・臨時号
- (10) 正味財産(収支)報告(平成 28 年 4 月)

4. 平成 28 年度 第 3 回

日時：平成 28 年 5 月 17 日（火） 総会後

- (1) 会長、副会長の互選について
- (2) 各委員会委員長の決定

5. 次回理事会開催予定

日時：平成 28 年 7 月 20 日（水） 予定

☆ トピックス(協会行事紹介)

◎ 防災展 2016

～東日本大震災から5年 今やろう、減災への備え～
(平成28年3月11日～3月13日)

東京都防災展 2016 が、新宿駅西口広場イベントコーナーにて、3日間にわたり催されました。今年は、東日本大震災発生の日からちょうど5年目の節目にあたるため、「東日本大震災から5年。地震災害の脅威を改めて理解し、震災によって高まった防災意識のさらなる高揚を図る。」ことを目的にしています。人間の意識・記憶が時間とともに低下するのは、人間の性であり仕方ないところがありますが、災害大国日本においては、それを看過することはできません。それゆえ、定期的に過去の災害を振り返り、記憶の風化を避けて、災害に対する意識を常に保持し続ける必要があります。私たちは、東日本大震災の圧倒的な破壊力を見せつけられて、防災インフラのみの対応では限界があることに気づかされました。そこで、ハードのみの対応ではなく、避難訓練などのソフト対策をミックスした総合的な災害対策が必要とされています。本防災展を契機に人々の防災意識が少しでも高まることを切に願います。それにより、30年以内に70%の確率で発生すると言われている首都直下地震の備えにもなるのです。

さて、前置きが長くなりましたが、当協会は関東地質調査業協会と共催で、宅地の診断という名のブースを設けて、以下に述べるイベントを開催しました。

(1) 地盤検索コーナー (来場者 約300人)

Google Earth に土地条件図を重ねたソフトを用いて、参加者が希望する場所の地盤検索を行い、技術員が検索地の地盤について説明しました。また、Google Earth に地盤のゆれやすさマップを重ね合わせて検索地のゆれやすさについての説明をしました。参加者は非常に熱心に聴いており、質問もかなり多くありました。検索図はプリントアウトして参加者に差し上げました。



地盤検索 宅地の診断

(2) 液状化実験装置を用いた液状化の実演

液状化実験装置を使って、液状化の実演をしました。杭基礎、ベタ基礎、布基礎の構造を有する建物の模型、マンホールなどの模型を用いて、液状化現象とそれに伴う被害状況が可視化されているので理解しやすく、見学者は興味深くご覧になっていました。



液状化の実演

(3) パネル展示

液状化に関するパネル、地盤のゆれやすさに関するパネル、地震に関するパネルなどを展示して、技術委員がそれぞれの概要、周辺技術を説明しました。

(技術委員 照屋 秀治)

◎ 平成 28 年度ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会
(4月8日～9日)

この講習会は当協会の地質踏査技術の向上に関する事業の一環として東邦地下工機株式会社様(東京都品川区)にご協力いただき毎年春・秋の2回実施している。受講者は協会会員に留まらず多方面からニーズがあり、昨年から座学会場を測量健保会館に移した。今回は定員いっぱいの50人の申し込みがあり、1名欠席の49名で実施となった。

講師は昨年と同様に当協会、片山浩明理事ほか東邦地下工機殿の職員の方数名によって行われた。

講義内容は、1日目に学科講習、2日目は実技講習に分かれており、学科講義はボーリングマシンに関する知識(基礎知識・構造、運転及び点検・整備)、マシンの運転に必要な一般事項に関する知識(施工・力学と電気)および関係法令・災害事例等である。

学科、実技ともに普段の作業に生かされる内容であり、学科では、関連法規など特別教育の沿革やマシン運転・作業の中にどのような危険性がはらんでいるのか、繰り返し細やかな講義が続いた。実技は、実際のボーリングマシンを使い、エンジンの始動時、ロッドの上げ下ろし、やマシン操作時の潜んだ危険性等について実践的な講義が行われた。多人数のため受講者の待ち時間が増える傾向にあった昨年から、マシンを1台増やし3台体制で臨んだ。今回は待ち時間が減少するというより、講師陣の熱心な指導によって、一人当たりの指導時間が増え、結果的に待ち時間の減少にはならなかったが、実質の講義はさらに充実したものとなった。

実技講習終了後、2日間受講した全員に修了書の授与が行われ、講習は無事終了した。現場作業での安全・安心を確保するために多くの知識を獲得できる場として、今後も継続して開催していきたいと考えている。

(副委員長 太田 智之)



◆ 都内探訪 (風景写真)

猿江恩賜公園

江東区毛利2丁目にある猿江恩賜公園です。
東京お花見30選にも選ばれており、ソメイヨシノなど
延べ230本の桜があります。



[撮影：総務委員 津川 明宏 氏]

赤塚公園



[撮影：技術委員 熊坂 明生 氏]

■ 会員(正会員・賛助会員)動静

(1) 代表者変更

- ・(株)東京ソイルリサーチ
代表者：[新] 田部井 哲夫 氏
[旧] 秋山 友昭 氏
- ・(株)東建ジオテック 東京支店
代表者：[新] 支店長 阿部 信 氏
[旧] 支店長 佐久間 春之 氏

住所、代表者、会社名等の変更がございましたら、お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。(協会事務局 TEL 03-3252-2963)

▲ 行事日程

日程	行事名・内容等
6月3日(金)	(東京) 第9回 土壌環境を取り巻く最近の話題と分析機関見学会
7月8日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
7月9日(土)	(全地連) 地質調査技士 資格検定試験
7月28日(木)	(東京) 足場の組立て等の作業従事者特別教育講習会
8月27日(土)	(関東・東京)
8月28日(日)	そなエリア東京 防災イベント [予定]
9月4日(日)	(関東・東京) 東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓
9月8日(木)	(全地連) 技術フォーラム2016・熊本
9月9日(金)	
9月28日(水)	(関東) 経営講演会 (MPC 共催)
9月30日(金)	(東京) ボーリングマシン安全衛生
10月1日(土)	特別教育講習会 (秋期) [予定]
11月11日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
11月18日(金)	(全地連) 地質リスク事例発表会
11月25日(金)	(関東) 地質調査技士 登録更新講習会

・ 編集後記 ・

定時総会も無事に終わり、懇親会もいつにもまして盛り上がりました。

春は歓送迎の多い時期ですが当協会でも理事の改選があり、長年に渡り広報委員長を務められた神馬委員長が退任されました。長い間お疲れ様でした。新広報委員長は亀井さんに決まりました、次回巻頭言執筆も含め宜しく願いいたします。(A.S)

お店紹介

このお店は、慶應義塾大学の東側を走る桜田通り沿いにある、昼は中華定食屋で、夜は飲み物も料理も全品300円の中華居酒屋です。

私がこのお店をおすすめするのは、ランチがすべて630円で、ボリューム満点な事。キャベツが山盛りなのも嬉しく、ご飯のおかわりが自由でたくさん食べることができます。630円という価格でこれがいただければ、コストパフォーマンスはよいものと思います。

また夜はその名の通り、全品300円で約110種類の料理と約90種類のドリンク類が楽しめます。

決してデートをするようなおしゃれな店ではありませんが、安くガッツリ呑んだり食べたりしたい方は一度どうぞ。

店 名 「三百宴や 田町・三田店」
住 所 東京都港区芝5-14-14
 ビジデンス三慶 2F
電 話 03-3457-7866

東地協ニュース 2016.6 第30号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp